

三重津海軍所が



三重津海軍所がつくられたひみつに
せまる問題が裏面にあるよ!
このパンフレットも参考にしておね!



つくられたひみつ

三重津海軍所跡ってなに?

三重津海軍所跡は、江戸時代の終わり頃につくられた佐賀藩の洋式海軍の拠点です。洋式海軍の教育や洋式船の修理・建造などを行っていました。日本初の実用蒸気船「凌風丸」もここでつくられました。

三重津海軍所跡は2013年に国の史跡に指定されました。また、2015年には「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の構成資産のひとつとして世界遺産に登録されました。

三重津海軍所はなぜつくられたの?

江戸時代の日本は、限られた国と決まった場所だけで交流していたよ。清(現在の中国)やオランダとの交流は、長崎だけで行っていたんだ。



佐賀藩は、福岡藩と1年交代で長崎の警備を担当していたよ。

この頃、どんなことが起きていたのだろう?

アヘン戦争(1840年~1842年)

イギリスと清(現在の中国)との間で起きた戦争。イギリスが進んだ科学技術(蒸気船や鉄製の

佐賀藩は…

日本の隣の国で、アジアでは最も大きな国だった清が戦争で負けたことにとっても驚き、次は日本が攻撃されるのではないかと危機感をもった。
西洋の進んだ科学技術を取り入れることで、長崎警備を強化して日本を守ろうと考えた。

佐賀藩はどんな取り組みをおこなったのだろう?

- ①「築地反射炉」での鉄製大砲づくり
長崎の警備を強化するため、日本で初めて鉄製の
- ②「精煉方」での西洋の科学技術の研究
蒸気車や蒸気船などの蒸気ので動く機械や火薬などの研究を行った。
- ③「多布施反射炉」での鉄製大砲づくり
江戸幕府から依頼されて、江戸を守るための鉄製大砲をつくった。
この大砲は、品川台場(現在のお台場)に設置された。
- ④洋式海軍のたちあげ
長崎の警備を強化するためには、西洋式の蒸気船などをもった海軍が必要と考え、三重津に海軍所をつくって、佐賀藩の洋式海軍の拠点にした。



築地反射炉とカノン砲のモニュメント
(佐賀市立日新小学校内)

三重津海軍所がつくられた理由

Point!

佐賀藩が西洋の進んだ科学技術を取り入れた洋式の海軍をつくり、長崎の警備を強化することで日本を守るため。

くわしく

- ① 佐賀藩は、西洋の国から日本が攻撃されるのではないかと危機感から、西洋の進んだ科学技術を取り入れ始めた。
- ② 長崎の警備を強化するためには、蒸気船や鉄製大砲などをもった近代的な海軍が必要と考え、三重津に拠点を置いて洋式海軍を立ち上げた。



海軍所はなぜ三重津につくられたの？



※船屋=海軍所がつくられる前から佐賀藩の船を管理していた施設

海軍所が三重津につくられた理由

海軍の施設をつくるには、
地理的にとても条件のよい場所だったから。

Point!

くわしく 三重津はこんな場所

- ① 三重津には、もともと佐賀藩の船を管理する「船屋」という施設があった。
- ② 有明海を通して、佐賀藩が警備を担当していた長崎に行きやすかった。
- ③ 当時の政治の中心だった佐賀城に近い場所だった。
- ④ 大きな船が通ることのできる早津江川が目の前に流れていた。

ほかの船屋の場所と佐賀城との距離や、三重津から長崎までの航路などを確認してみよう!



◎三重津のひみつにせまる問題に挑戦!!



◎調べてみよう!～三重津からの距離

① 三重津から佐賀城までは直線距離でどれくらい?

約 _____ km

② 三重津から有明海 (現在の海岸線) までは直線距離でどれくらい?

約 _____ km

◎確認しよう!～三重津海軍所がつくられたひみつ

Q1) 佐賀藩が西洋の科学技術を取り入れて長崎の

警備強化をはじめるきっかけになった事件はなに?

- ① 関ヶ原の戦い
- ② ペリー来航
- ③ アヘン戦争

◎正解は… 番

Q2) 「築地反射炉」で行ったのはどんなこと?

- ① 江戸を守るための鉄製の大砲づくり
- ② 長崎を守るための鉄製の大砲づくり
- ③ 西洋の科学技術の研究

◎正解は… 番

Q3) 三重津海軍所がつくられた理由は?

◎西洋の進んだ 技術を取り入れて の警備を強化し、日本を守るため。

Q4) 三重津に海軍所がつくられた理由は?

- ① 地理的な条件がよかったから
- ② 運気がよい場所だったから
- ③ 三重津以外に空いた土地がなかったから

◎正解は… 番